

このか 心花の里樹木葬墓地 報恩寺境内

永代供養

宗教不問

後継者不要

栃木県佐野市山形町1178（報恩寺内）

- 東武佐野線「田沼駅」より車で12分
- JR両毛線、東武佐野線「佐野駅」より車で20分
- 北関東自動車道
「出流原スマートIC」より車で5分

ご家族ごとに、50年間個別にご供養できる
樹木葬墓地です。

駐車場が完備されています。（墓地のすぐ近くに思いやり駐車場有り）

- お寺が管理する樹木葬ですので、永代にわたり供養され安心です。
- 50年後（期限到来後）もお寺の管理が可能な限り、
合祀はせずに個別納骨のままご供養いたします。
- 毎年、合同法要を執り行います。
- 生前のお申込みも受付けています。
- 墓じまいの必要がありません。

個別供養 志納金（個別区画使用料・永代供養料も含む）

2霊区画

1霊～2霊まで納骨可能

志納金 33万円・40万円

3霊区画

1霊～3霊まで納骨可能

志納金 45万円

- 4霊希望の方はご相談ください。
- 別途墓石代金がかかります。
- 護持費（管理費）年間護持費：2,000円/50年分一括払い50,000円

妙光山 報恩寺（臨済宗 建長寺派）



勧請開山 栄西 元久元年(1204)木曾義仲の子、清水冠者義高が落ち延びて佐野家に仕え、名を佐野(岩崎)越前守義基と改め、父祖の霊を弔う為に寺を建て、栄西を招請して開山とし、如法寺と称したといわれています。21世三伯玄伊和尚の代に、妙光山報恩寺と改めました。住職は代々鎌倉建長寺の隠居が務めていたといわれており、格式のある寺でした。天正19年(1591)に天徳寺了伯が、母(赤見丹波守義政の娘)の菩提を弔うため自ら大願主となって中興しました。この時の住職が福源山古溪藤和尚であり、徳川幕府から19石7斗の朱印地をいただいております、末寺8ヶ寺を持つ大きな寺院でありました。寛政年間(1789～1801)までは、広い境内に堂塔が林立していたといわれますが、その後寛政・嘉永年間2度の火災に遭って焼失し、その後再建された桃山式建築の本堂も平成6年に不慮の火災で焼失しています。現在の本堂は平成10年に再建されたものです。